

皆さん、こんにちは！「ENE FRAPP TEAM」です。私たちは「再生可能エネルギーによる持続可能なエネルギーの未来を築く」をテーマに、シンガポールで海外研修プロジェクトを行いました。

シンガポールでの活動：日本とシンガポールは、共に天然資源が限られた島国であり、エネルギーの多くを化石燃料に依存しています。私たちは、両国の再生可能エネルギーに対する意識の違いを調査するため、シンガポールの学生や街の人々、さらにエネルギー関連企業にもインタビューを実施しました。調査の結果、シンガポールでも日本と同様に、再生可能エネルギーへの意識はまだ高くないことが分かりました。また、停電がほとんどないことによる安定した電力供給が、かえってエネルギー問題への関心を薄れさせているのかもしれない、という発見がありました。



新しい発見とチャレンジ：現地では調査だけでなく、文化交流も大きな学びとなりました。マリーナベイ・サンズの壮大な景色に感動し、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイの美しいイルミネーションを見学。ホーカーズ（屋台街）では、多様な文化が融合したローカルフードを味わいました。また、チームメンバーで「ワイルド・ワイルド・ウェット」というウォーターパークを訪れ、チームの絆を深めることもできました。シンガポールの活気と文化に直接触れたことで、エネルギー問題をより身近なものとして捉える視点を得ることができました。

私たちの提案と今後の抱負：調査活動を通じて私たちがたどり着いた答えは、「エネルギーについて楽しく学べる仕組みが必要だ」ということです。そこで私たちは、自分たちで発電した電力でアトラクションを動かす「体感型アミューズメントパーク」を提案しました。例えば、自転車を漕いで発電し、その電力でジェットコースターを動かすのです。このアイデアは、楽しみながらエネルギーの大切さを学び、CO2削減にも貢献できる、画期的な解決策だと考えています。

この研修を通して、私たちは異文化コミュニケーションの難しさと楽しさ、そして社会課題に対する多角的なアプローチの重要性を学びました。この貴重な経験を活かし、これからも楽しみながら持続可能な未来を創造するアイデアをブラッシュアップしていきます。

と、まじめな話はこれくらいにして私たちのチームの本当の姿を少しだけおみせします。

例えば、朝早く起きてホテルのプールに行ったが、タオルを忘れてしまい転がって自然乾燥しているところを部屋から見られてしまったメンバーもいました。フードコートで火鍋のようなものを食べたメンバーは、味が辛すぎて外に口を冷ましに行ってそのあとミルクティーを飲んでたり。かと思えば、ウォーターパーク「ワイルド・ワイルド・ウェット」ではしゃぎすぎて、のどがかわってしまったメンバーもいました。高所恐怖症のメンバーはアドレナリンが出すぎて自ら進んで怖いアトラクションに他のメンバーを引き連れていきました。いい迷惑でした。



GoogleMap には 30 分行けると書かれていた道のりが、2 時間もかかってしまい夜ご飯も食べずに夢中になって自転車をこいで門限ギリギリになったこともありました。しかも、知らない間にシンガポールを自転車で縦断していました。

本当に私たちのチーム「ENE FRAPP TEAM」は、誰かがボケて、誰かが突っ込んで、常に笑いが満ち溢れていました。真面目な調査の合間も、シンガポールメンバーが教えてく

れたシングリッシュに爆笑し、メンバーが披露したほうれん草ゲームで腹筋が崩壊。周りのチームがホテルで真剣に議論を交わしているであろう夜も、私たちは本来の目的から離れた議論をしていたかもしれません。



この底抜けの明るさと好奇心こそが、私たちの原動力。この笑いのエネルギーがあったからこそ、あのユニークな提案が生まれたのだと、強く信じています！